

2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年11月13日

本日の議題

1. 新体制のご挨拶・事業活動報告

代表取締役会長 松尾邦彦

2. 2009年3月期 第2四半期決算

取締役副社長執行役員

財務・経理本部長 藤井睦久

注意事項

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

新体制のご挨拶・事業活動報告

代表取締役会長
松尾邦彦

新会社の長期成長目標と成長戦略

長期成長目標

- 石油・天然ガスの開発事業をより持続的に拡大し、2010年代末頃に日量80-100万バレル(原油換算)程度の生産量を有するメジャーに準ずるグローバル企業を目指す
- 内外における石油・天然ガスの開発をコア事業としつつ、ガスサプライチェーンの確立を図るとともに、非在来型炭化水素資源や新エネルギー開発などの新事業にも積極的に取り組み、多様なエネルギーを開発し供給する企業へ成長していくことを目指す

3つの成長戦略

経営統合により形成されたバランスのとれた資産ポートフォリオ、一層充実した操業力/技術力等、強化された経営基盤に立ち、たゆまぬ経営効率化を進めながら、次の3つの基本戦略を追求する

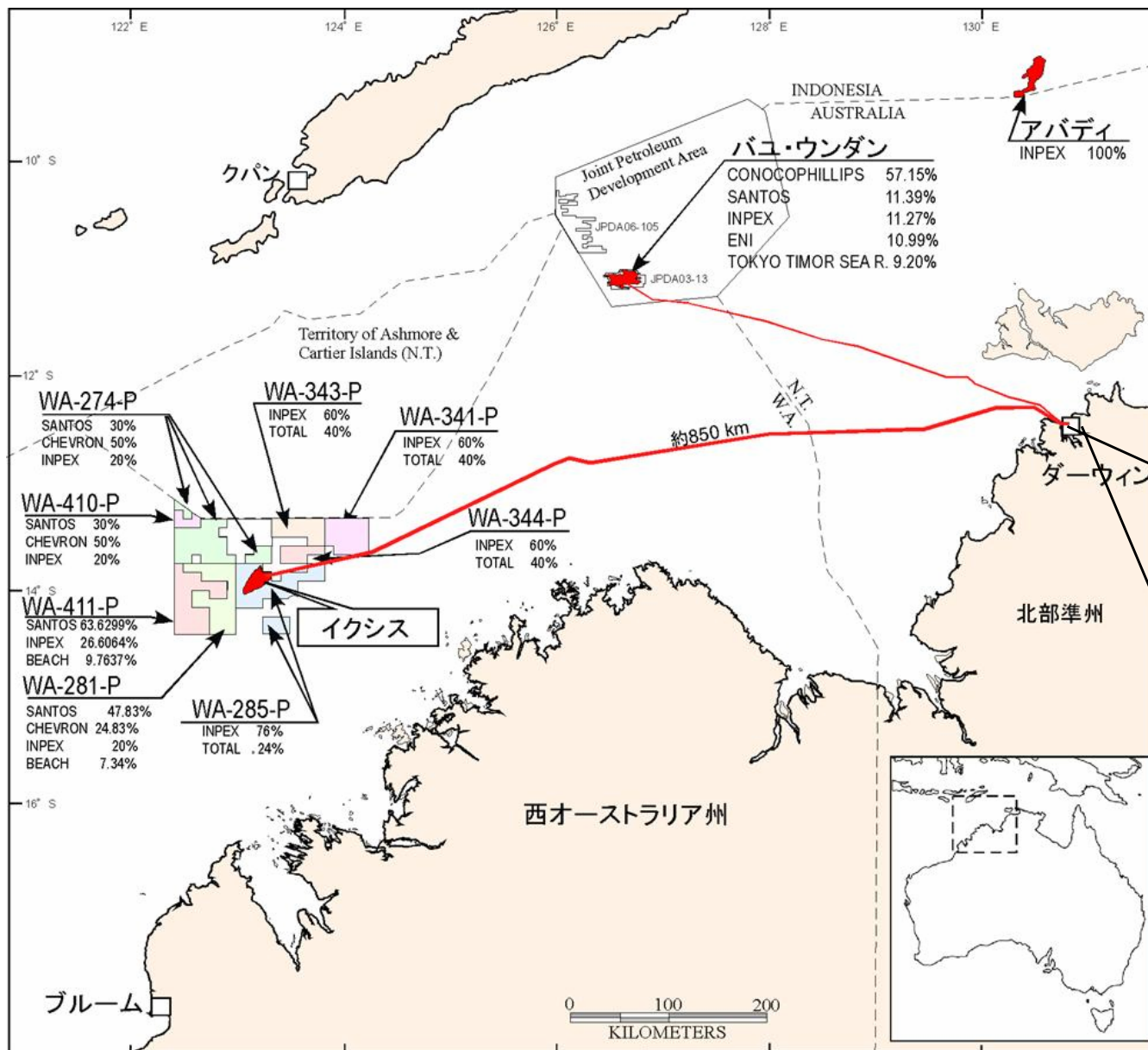
- 上流事業(Exploration&Production事業)の持続的拡大
- ガスサプライチェーンの構築とガスビジネスの積極的展開
- 多様なエネルギーを供給する企業への成長

イクシスLNGプロジェクト①

- LNG液化基地を北部準州ダーウィン近郊に決定
- まもなく基本設計作業(FEED)を開始
- 最終投資決定(FID)目標: 2009年末~2010年初
- 生産開始目標: 2014年末~2015年初
- プロジェクトの投資額(CAPEX): 200億米ドル以上
- 生産量: LNG 年間800万トン超(2トレイン)、
コンデンセート 日量約10万バレル(ピーク時)、LPG 年間約160万トン
- 可採埋蔵量: 天然ガス 12.8兆cf、コンデンセート 5億2,700万バレル
(原油換算合計約30億バレル、うち当社権益分22.8億バレル)※
- イクシス周辺のWA-344-P 鉱区において、試掘井Mimia-1を掘削し、天然ガス・コンデンセートの発見に成功、今後埋蔵量評価の予定
- 現在、WA-274-P鉱区において、試掘井Ichthys North-1を掘削中

※ オーストラリア連邦政府へ報告しているイクシスガス・コンデンセート田全体の埋蔵量。5月16日公表のSPE定義の推定埋蔵量とは異なる社内技術評価に基づく可採埋蔵量

イクシスLNGプロジェクト②



イクシスLNGプロジェクト③



Figure 3-5: Conceptual site plan for onshore gas-processing facility, onshore pipeline and MOF, at Blaydin Point

※ 上記は2008年5月時点(Referral of Proposed Action – Browse Basin and Blaydin Point, Darwinより抜粋)

アバディLNGプロジェクト



マセラ鉱区 評価井掘削リグ

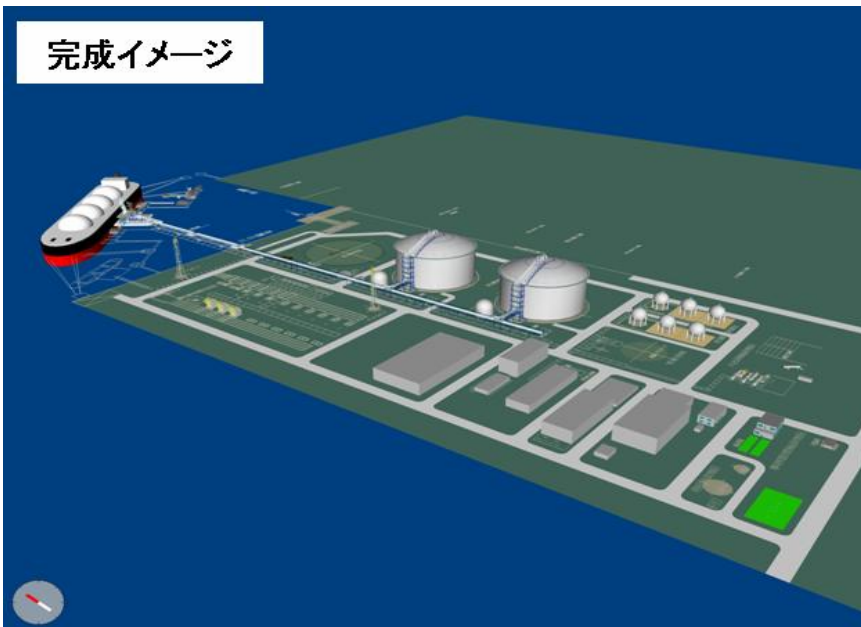
- 埋蔵量確認を目的として2007年5月より追加評価井4坑を掘削
- Floating LNGのPre-FEED(概念設計)を実施
- 2008年5月、開発計画(POD)を提出し、インドネシア政府(BPMIGAS)との間でPODに関する具体的な協議を開始
- Floating LNGを有力なオプションとして、複数の開発方式を前提にBPMIGASとPODを協議中
- PODの政府承認取得後、開発・生産期間(20年間)へ移行
- 最終投資決定(FID)目標: 2011年
- 生産開始目標: 2016年

直江津LNG受入基地

埋立状況(平成20年7月撮影)



完成イメージ



- 2008年8月新潟県上越市(直江津港)にLNG受入基地建設の最終投資決定
- 静岡ガスからのLNG気化ガスの導入(2010年1月予定)と合わせて、天然ガスの安定供給体制を一層強化
- 国内外の天然ガス資産と国内の供給インフラの最適活用により、天然ガス事業の持続的な成長を目指す

【直江津LNG受入基地の概要】

建設場所：新潟県上越市直江津港荒浜ふ頭地区

敷地面積：約25ha

主要設備：バース、タンク(地上式18万kl タンク×2 基:取扱可能量約150万t/年、将来1基増設可能)、気化設備、熱量調整設備ほか

投資金額：約1,000億円(土地取得費用等を含む)

工事開始：2009年予定

操業開始：2014年予定

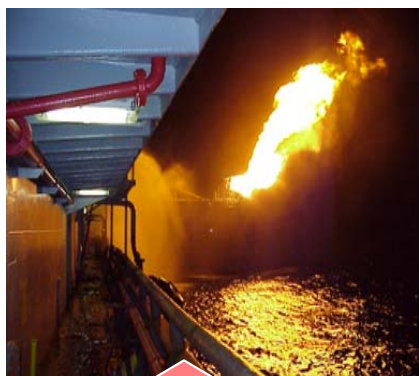
ガスサプライチェーンの構築へ

開発・生産

液化

輸送・気化

ガス供給



(マセラ鉱区ドリルシステムテスト)

- 海外既発見油・ガス田の早期商業化
- 積極的な海外探鉱・開発活動の推進



(ボンタンLNGプラント)

- 大規模LNGプロジェクト(イクシス、アバディ)の着実な推進



(ダーウィンLNG出荷バース)

- 国内天然ガス事業の拡大につながる新たな原料調達
- 自社LNG受入基地の建設



(静岡ライン)

- 国産天然ガスと海外LNGの最適活用
- 国内パイプラインネットワークとの有機的結合

ACG油田 / カシャガン油田



アゼリ油田(中央部)プラットフォーム

ACG油田 (アゼルバイジャン)

- 8月6日、トルコ国内のバルブステーション付近の火災によるBTCパイプラインのシャットダウンにより、ACG油田からの原油生産を制限。8月26日、パイプライン修理を完了し、通常操業を再開
- 9月17日、アゼリ油田(中央部)のプラットフォーム近傍にて、ガスリークが発生。同プラットフォームを一時的にシャットダウンし、発生源の特定作業を実施中。現在、生産制限中。

カシャガン油田 (カザフスタン)



北カスピ海沖合鉦区 海上生産施設

- 本年1月の基本合意に基づくカザフスタン当局との詳細な協議は、10月31日に最終合意
- 当社権益比率： 8.33%→7.56%に変更
- 新操業会社(North Caspian Operating Company)を設立。2009年1月より、同社が現行オペレーターAgip KCO社の役割を承継
- 生産開始目標： 2012年末
- 第一段階の開発(Experimental Program)では、原油生産量(プラトー生産量)は、日量30万バレル、続いて45万バレルに逐次増加。カシャガン油田の全体開発では、2010年代末に向けて日量150万バレルを予定

2009年 生産開始プロジェクト



ヴァンゴッホ油田開発井掘削リグ

ヴァンゴッホ油田(ヴァンゴッホ限定地域) (オーストラリア)

- 生産開始予定: 2009年4月
- 原油生産量: 日量約6万バレル(ピーク時)
- 当社権益比率: 47.499%



タングーLNG基地

タングーLNGプロジェクト (インドネシア)

- LNGプラント建設中
- 生産開始予定: 2009年第1四半期
- LNG生産量: 年間760万トン
- 当社権益比率: 約7.79%

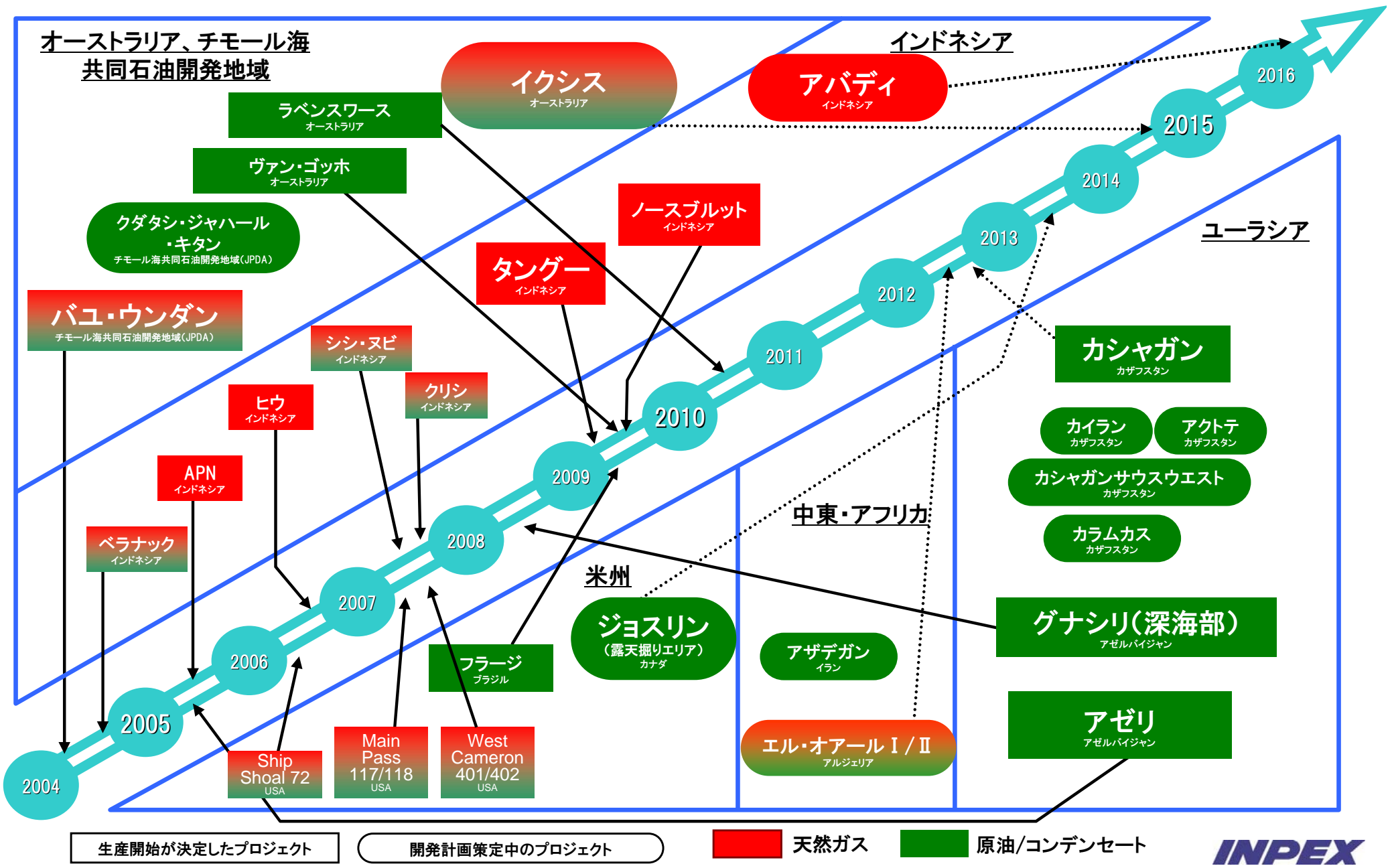


フラージFPSO

フラージ鉱区 (ブラジル)

- 生産開始予定: 2009年4月
- 原油生産量: 日量約10万バレル(ピーク時)
- 当社権益比率: 約6.85%

生産開始スケジュール



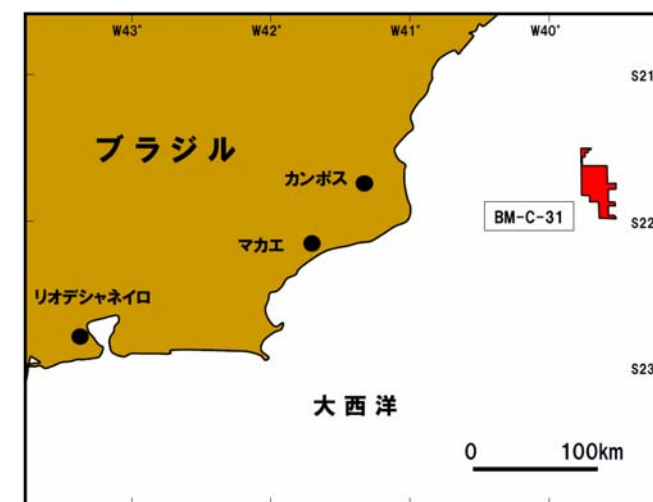
新規探鉱プロジェクト / 探鉱実績(9月末時点)

BM-C-31鉱区 (ブラジル)

- 2008年11月、新規探鉱権益を取得

ブラジル南西カンポス堆積盆地 BM-C-31鉱区

- 当社権益比率: 20%(オペレーター:ペトロbras)
- 水深1,750-1,950mの大水深プロジェクト



探鉱実績(9月末時点)

試探掘井 (坑)	実績・作業中 (内、オペレーター)	
日本	1	(1)
インドネシア	7	(1)
オーストラリア	5	(2)
リビア	1	(1)
エジプト	2	(1)
英国	1	
合計※	17	(6)

地震探鉱	実績
2D (km)	1,700
3D (km ²)	766

※ 5月16日公表の2008年度探鉱計画では合計30坑を予定していたが、計画の見直し等により、9月末時点では合計27坑に変更(下半期は10坑を予定)。

2009年3月期 第2四半期決算

取締役副社長執行役員
財務・経理本部長 藤井睦久

連結子会社および持分法適用関連会社

連結子会社 58社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
国際石油開発	インドネシア	100%	生産中	3月
帝国石油	日本	100%	生産中	3月
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
ナトゥナ石油	インドネシア	100%	生産中	3月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
インペックス西豪州ブラウズ石油	オーストラリア	100%	開発準備作業中	3月(仮決算)
インペックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インペックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	開発中	3月(仮決算)

持分法適用関連会社 14社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	開発中	12月
アンゴラ石油	アンゴラ	19.6%	生産中	12月
インペックス北カンポス沖石油	ブラジル	37.5%	開発中	12月

2009年3月期 第2四半期決算ハイライト

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	5,541	7,415	1,874	33.8%
原油売上高	3,577	4,780	1,203	33.6%
天然ガス売上高(LPG含む)	1,835	2,488	653	35.6%
その他	128	146	17	13.7%
営業利益 (億円)	3,259	5,037	1,777	54.5%
経常利益 (億円)	3,216	4,794	1,577	49.1%
純利益 (億円)	810	1,040	229	28.4%
1株当たり四半期純利益 (円)	34,385.24	44,155.91	9,770.67	28.4%

期中平均株式数(連結)2009年3月期第2四半期累計 2,355,673株

原油売上高

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	3,577	4,780	1,203	33.6%
販売量 (千bbl)	42,971	38,301	△4,670	△10.9%
海外平均単価 (\$/bbl)	69.47	116.73	47.26	68.0%
国内平均単価 (¥/kl)	55,004	81,789	26,785	48.7%
平均為替 (¥/\$)	119.44	105.89	13.55円高	11.3%円高

地域別販売量 (千bbl)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
日本	151 (24千kl)	161 (26千kl)	11 (2千kl)	7.0%
アジア・オセアニア	5,917	5,436	△481	△8.1%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	9,573	4,316	△5,257	△54.9%
中東・アフリカ	27,281	28,306	1,025	3.8%
米州	50	82	32	63.7%
合計	42,971	38,301	△4,670	△10.9%

天然ガス売上高(LPG除く)

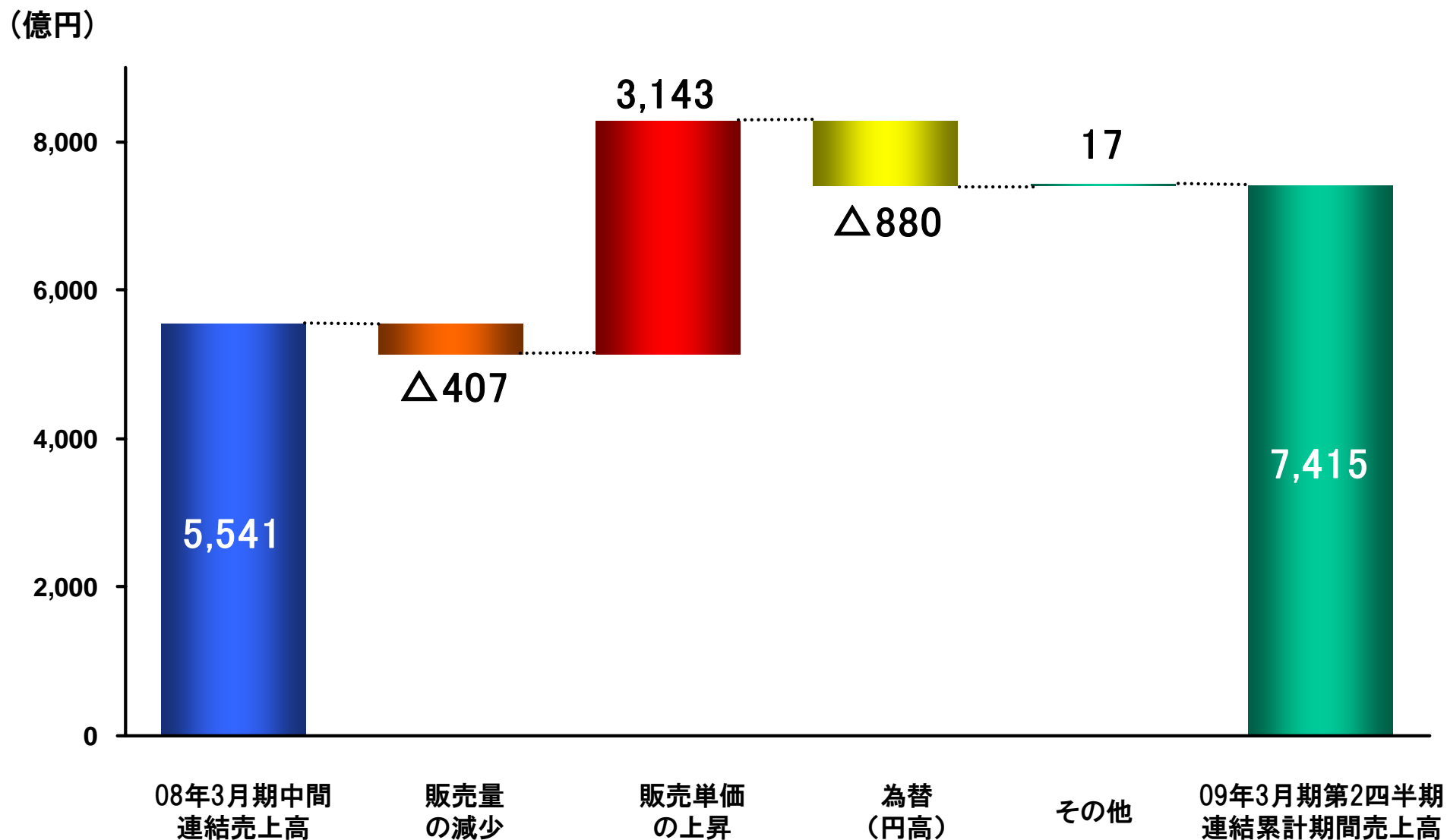
	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	1,781	2,390	608	34.2%
販売量 (百万cf)	202,083	197,349	△4,733	△2.3%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	7.32	11.73	4.41	60.2%
国内生産分平均単価 (¥/m ³)	34.92	37.25	2.33	6.7%
平均為替 (¥/\$)	119.32	106.24	13.08円高	11.0%円高

地域別販売量 (百万cf)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
日本	28,222 (756百万m ³)	28,301 (758百万m ³)	79 (2百万m ³)	0.3%
アジア・オセアニア	159,073	154,546	△4,527	△2.8%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	14,788	14,502	△286	△1.9%
合計	202,083	197,349	△4,734	△2.3%

LPG売上高

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	54	98	44	83.0%
販売量 (千bbl)	755	1,083	329	43.6%
海外生産分平均単価 (\$/bbl)	53.47	81.30	27.83	52.0%
国内生産分平均単価 (¥/kg)	126	147	21	16.3%
平均為替 (¥/\$)	119.99	105.65	14.33円高	11.9%円高
地域別販売量 (千bbl)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
日本	100 (9千ト)	106 (10千ト)	7 (1千ト)	6.8%
アジア・オセアニア	655	977	322	49.2%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	755	1,083	329	43.6%

2009年3月期第2四半期連結累計期間 売上高 増減要因分析



損益計算書

(億円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率	
売上高	5,541	7,415	1,874	33.8%	原油売上： 4,780 (増減) +1,203 天然ガス売上(注)： 2,488 (増減) +653
売上原価	1,896	1,884	△12	△0.6%	原油売上原価： 1,373 (増減) +50 天然ガス売上原価(注)： 428 (増減) △66
探鉱費(補助金控除後)	83	157	74	89.1%	
販売費及び一般管理費	302	336	34	11.5%	
営業利益	3,259	5,037	1,777	54.5%	
営業外収益	220	107	△113	△51.4%	ブラウズ、インパックスチモール シー等
営業外費用	263	349	86	32.7%	
経常利益	3,216	4,794	1,577	49.1%	主に外国法人税
法人税等及び法人税等調整額	2,319	3,710	1,391	60.0%	
少数株主利益	86	43	△43	△50.0%	
純利益	810	1,040	229	28.4%	

注) LPGを含む。

営業外収益・費用

(億円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
営業外収益	220	107	△113	△51.4%
受取利息	59	34	△24	△41.2%
受取配当金	12	37	25	198.1%
持分法による投資利益	10	13	2	24.2%
埋蔵量再評価精算益	38	-	△38	△100%
石油契約発効に伴う精算益	35	-	△35	△100%
為替差益	45	-	△45	△100%
その他	18	21	2	15.9%
営業外費用	263	349	86	32.7%
支払利息	59	34	△25	△42.5%
生産物回収勘定引当金繰入額	75	141	66	88.5%
探鉱事業引当金繰入額	6	25	18	266.7%
投資有価証券評価損	68	51	△17	△25.1%
為替差損	-	52	52	-
その他	54	45	△8	△16.3%

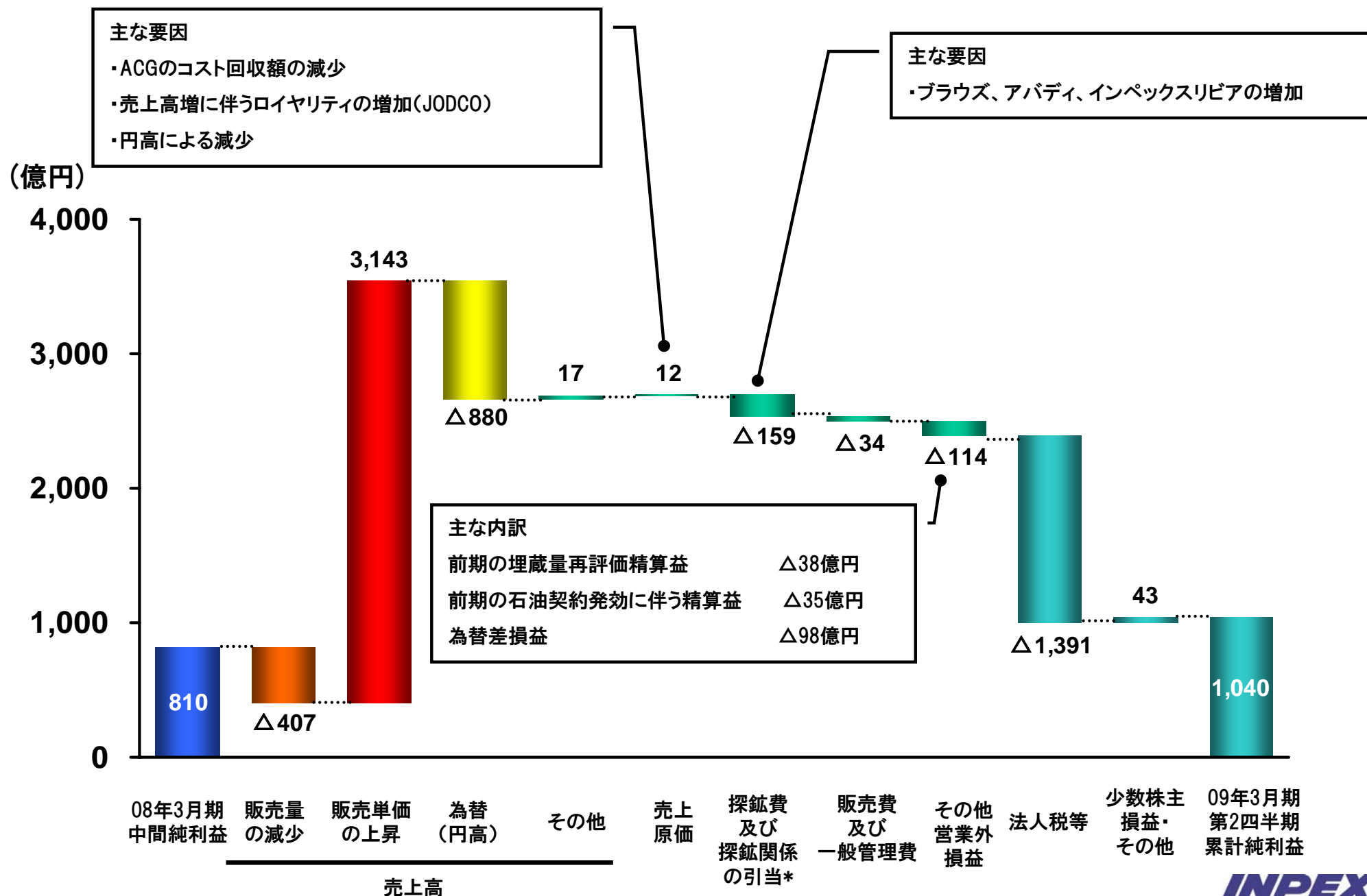
前期はバユ・ウンダンガスプロジェクトにおける隣接鉱区との埋蔵量再評価による精算益

前期はベネズエラ(ガスグアリコ)における石油契約発効に伴う過年度分(06.4-12)精算益

アバディ及びビンペックスリビア等の探鉱投資の増加

当期の期首期末為替レートは3.43円円安、前年同期は2.66円円高

2009年3月期第2四半期連結累計期間 純利益 増減要因分析



貸借対照表

(億円)	08年3月期末	09年3月期 第2四半期末	増減	増減率
流動資産	5,651	5,112	△539	△9.5%
有形固定資産	2,544	2,778	233	9.2%
無形固定資産	2,654	2,593	△61	△2.3%
生産物回収勘定	3,831	4,465	633	16.5%
その他	4,111	4,812	701	17.1%
生産物回収勘定引当金	△714	△881	△166	23.3%
資産合計	18,079	18,880	801	4.4%
流動負債	3,252	3,475	223	6.9%
固定負債	2,438	2,080	△358	△14.7%
純資産	12,388	13,324	936	7.6%
(うち少数株主持分)	814	919	105	12.9%
負債・純資産合計	18,079	18,880	801	4.4%
1株当たり純資産 (円)	491,168	526,702	35,534	7.2%

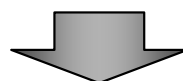
キャッシュフロー

(億円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	3,216	4,794	1,577	49.1%
減価償却費	177	196	19	10.9%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	506	252	△253	△50.1%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△144	△252	△107	74.5%
法人税等の支払額	△2,132	△3,147	△1,015	47.6%
その他	89	270	181	202.6%
営業活動によるキャッシュフロー	1,712	2,113	401	23.4%
有形固定資産の取得による支出	△250	△402	△152	61.0%
有価証券・投資有価証券の取得による支出・売却 による収入(ネット)	△437	△748	△310	70.9%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△586	△640	△54	9.3%
その他	473	0	△472	△99.9%
投資活動によるキャッシュフロー	△801	△1,790	△989	123.6%
財務活動によるキャッシュフロー	△249	△506	△256	102.5%
現金及び現金同等物の期末残高	2,521	2,102	△418	△16.6%

2009年3月期 業績予想の修正

◆前提条件

(2008年8月8日)	1Q(実績)	2Q	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	123.0	115.0	95.0	107.0
為替レート(円/US\$)	104.6	105.0	100.0	102.4



(2008年11月11日)	上期(実績)	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	119.9	65.0	92.5
為替レート(円/US\$)	106.1	95.0	100.6

◆連結通期業績予想(2008年4月～2009年3月)

	前回予想 2008年8月8日	今回予想 2008年11月11日	増減	増減率
売上高 (億円)	13,140	11,530	△1,610	△12.3%
営業利益 (億円)	8,500	7,230	△1,270	△14.9%
経常利益 (億円)	8,190	6,920	△1,270	△15.5%
当期純利益 (億円)	1,770	1,500	△270	△15.3%

◆1株当たり配当金

	第2四半期末	期末(予想)	年間(予想)
2009年3月期 (円)	4,000	4,000	8,000